

北方小だより

令和2年3月27日(金)



揖斐川町立北方小学校 校長 高木 俊紀

19名の卒業生が北方小学校を巣立っていきました

3月25日、満開の桜の下で、令和元年度北方小学校卒業証書授与式を挙行しました。新型コロナウイルスへの感染が拡大し、様々な行事やイベントが自粛される中、卒業式も規模を縮小せざるを得ませんでした。しかし、満開の桜と真っ青な青空の下、春のぽかぽか陽気の中で19名の卒業生に卒業証書を手渡すことができ、幸せな気持ちでいっぱいです。このような中で卒業式を迎えた皆さんの心に、何にも負けない大きな思い出として残ってくれたら本当にうれしく思います。皆さんのこれからの活躍を心より祈っています。



4名の職員が転出します

定期異動により、3月をもって北方小から4名の職員が転出をいたします。本来なら離任式を行い、児童の皆さんとお別れができるのですが、それも叶いませんので、お別れの挨拶を掲載させていただきます。

近藤 順二 教頭 《海津市立石津小学校へ》

《 児童のみなさんへ 》

3年間、みなさんに毎日会えるだけで、元気をもらっていました。みなさんは意識をしていないと思いますが、みなさんがいるだけで、どれだけ多くの人(家族、地域の方、先生達)を幸せにしていることでしょうか。みなさんはそんな大切な存在、みんなの「宝もの」なのです。これからも、素直で笑顔があふれるみなさんであってほしいと思います。また、みなさん一人一人が大切なように、学級や学校の仲間も同じように大切なのです。人を大切にする気持ちをもち続けてください。自分や仲間を大切にするのを支えている、北方小学校の3つの伝統の木がますます大きくなっていくことを願っています。皆さんと過ごした思い出を胸に新しい学校でも頑張っていきます。みなさん、楽しい毎日をありがとう!

《 保護者・地域の皆様へ 》

3年前に赴任した年は、佐藤校長の体調不良や新任教頭ということもあり、とても大変な時期でしたが、皆様に助けていただきました。本当に感謝しています。この時も、そして3年間も思いは変わりません。素直な児童や協力していただける保護者や地域の皆様のおかげで、3年間つつがなく勤務することができました。

素直で笑顔があふれる子ども達は、「宝もの」です。こんな子ども達が育っているのは「当たり前なことではない」と思います。素晴らしいことです。誇らしいことです。そして、こんな子ども達が育っているのも、保護者・家族・地域の方の存在があってこそだと思います。これもまた、誇らしいです。皆様の北方小学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

最後になりますが、今回異動で、海津市立石津小学校に赴任することになりました。新天地でも、北方小学校で学んだことを生かして、子ども達が素直で笑顔あふれる毎日が過ごせるよう努力してまいります。3年間、お世話になりました。そして、本当にありがとうございました。

高坂 直美 教諭 《揖斐川町立大和小学校へ》

この春卒業した6年生と一緒に、私も北方小学校を巣立つことになりました。長いようであっといふ間の6年間でした。

前任の久瀬小学校にいた頃、北方小学校と交流したことがありました。北方っ子はとても温かい雰囲気でも迎えてくれ、少人数でときどきしていた久瀬っ子たちの不安が一気に打ち払われました。その後、久瀬と北方が統合した時に、私も一緒に来させていただきました。北方っ子はやはり優しく温かく迎えてくれ、久瀬っ子たちも私もすぐに溶け込むことができました。6年経った今でもどの学年も素直で明るく、優しさいっぱい北方っ子です。この素晴らしさを、これからも大切にしていきたいと願っています。

北方の保護者の方にはいつも気さくに話しかけてもらいました。学校の温かさはそのまま家庭の温かさでもあるのだなと強く感じたものです。どの年にもいろいろな思い出がありますが、今年度はかわいいかわいい1年生を担当させていただき、毎日癒されながら過ごすことができました。

十分なあいさつもせず大好きな北方小学校から去るのは寂しいのですが、次の赴任先は大和小学校ということで、寂しさをかみしめる間もなくすぐにお会いできそうです。その時は、どうか北方小学校の宝物「元気なあいさつ」で声をかけてください。

長い間お世話になりました。ありがとうございました。

迫田 一輝 教諭 《瑞穂市立巣南中学校へ》

赴任する学校がどこにあるのか下見に来た時から気付けばもう3年。整然と並べられた一輪車と竹馬（よその学校では倉庫に鍵をして保管しています）を見て、「あ、北方小学校はいい子がいっぱいいる学校なんだな。」と思ったことを今も覚えています。そうは思いながらも不安いっぱいの着任式・始業式の日、体育館での赴任のあいさつで、元気な挨拶を返され、そんな気持ちも吹き飛びました。

3年間で北方小学校の多くの児童のみなさんとハイタッチ（じゃんけん？）あいさつをしたり、一緒に遊んだり、色々な話をしたりしましたね。「来年は先生のクラスがいいな」「先生大好き」と声をかけてくれて、とても嬉しかったです。ありがとう。これからも北方小学校の3つの木を大切に頑張ってください。応援しています。

2年生（新5年生）の皆さん、皆さんとおもちゃを作って遊びましたね。イチゴハウスや長慶寺、竹林など、色々な所へ町探検に行きました。頑張っているようになったことを授業参観で発表もしましたね。2月に6年生と一緒にしたサッカー、企画してくれてありがとう。とても楽しい時間でした。もう4月から高学年です。皆さんの持ち前の元気よさと「たすけあい」で、6年生を支えて下さいね。

4年生（新6年生）の皆さん、緑の少年団としてコア山に植樹するために、実のなる木を一生懸命

育てましたね。皆さんが頑張ってきたことが県で認められて、全国大会にも出場しました。アマゴの稚魚の成長に一喜一憂することもありました。5年生最後の感謝する会も、一生懸命準備してくれてありがとう。6年生の担任、そして元担任としてとても嬉しく感じました。今度は最高学年です。たくさんの大きな「山」が待っていると思いますが、皆さんなら大丈夫です。今まで歩んできた一歩一歩を財産に、北方小学校をもっと素敵な学校にしてくださいね。

そして6年生（新中1年生）の皆さん、初めての6年生担任に戸惑う自分に最後までついてきてくれてありがとう。全校のリーダーとして学校がより良くなるように精一杯頑張る皆さんを見て、「小学校の頃の自分はここまでできなかったな」と驚くとともに、担任として嬉しく思う日々でした。桜の木の下の卒業式、最後の学活でのサプライズ…階段から引き返すよう言われて待っている間に、実はグッピーの前でこっそり涙していました。とても嬉しく、一生忘れられない思い出になりました。（新聞記事をみて、他の地域の方から「すてきな卒業式ですね」と、お電話をいただきましたよ）4月からはそれぞれの中学校で新たな出会いもあることでしょう。北方小学校での「Pride」をもって頑張った日々、そして“*When there is a will, there is a way.*”の精神を忘れずにお互いの新天地で頑張りましょう。

最後に保護者の皆様、地域の皆様、子供達のためにたくさんの協力をいただき、ありがとうございました。ご迷惑おかけすることが多かったと思いますが、笑顔で励ましの言葉をかけていただき、とても励みになりました。今回の異動で、瑞穂市立巢南中学校に赴任することになりましたが、北方小学校で学んだことを生かして子どもに寄り添い愛される教員となれるよう、頑張ります。本当にありがとうございました。

岡崎 敦子 事務主任 《垂井町立府中小学校へ》

玄関前の桜がとてもきれいに咲いています。これからの皆さんそれぞれの門出を祝うかのように満開です。

4月に北方小学校に来させていただき事務のお仕事を、1年間というとても短い間でしたがさせていただきました。1年間という期間はとても短かったのですが、毎日とても充実していました。直接皆さんとの関りは少なかったのですが、廊下や校庭で会うといつも笑顔で挨拶をしてくれました。自分が苦手だったことを「できるようになったよ！」とうれしそうな顔で伝えに来てくれた人もいました。

怪我をして車いすの私に、心配そうな顔で励ましの声をかけてくれた人もいました。まだまだたくさんある一つ一つの思い出がとても鮮明に思い浮かびます。

母校である北方小学校に来て、優しい心遣いのできる人がたくさんいることがとても嬉しくなりました。

4月から垂井町の府中小学校へ行きます。私が北方小学校の皆さんからいただいたこの優しい心遣いを見習ってお仕事したいと思います。

本当にいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。新学年になっても頑張ってください。皆さんお元気で。

4名の先生方、本当にお世話になりました。毎年のことながら3月はつらい別れの季節です。皆さんが新しい学校で、益々ご活躍されることを心よりお祈りしています。また、機会があったらぜひ北方小を訪れてください。そして、頑張る子どもたちの姿をご覧いただき、励ましていただくと嬉しいです。どうぞお元気で！